



二本松市長
三保 恵一

新年明けましておめでとうございます。平成21年の輝かしい新春をお慶び申し上げ、市民の皆様限りなにご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、早いもので市長就任以来4年目を迎えました。この間、厳しい行財政環境の中ではありましたが、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら市民福祉の向上と均衡ある発展を目指しその基礎固めに取り組んで参りました。

特に昨年は、本市の将来像を実現するための長期総合計画もスタートし、少子高齢化や環境問題など社会の大きな変化に対応するとともに、本格的な地方分権の時代にあつて自立できる豊かな二本松市を築いていくための新たな第一歩を踏み出すことができました。しかしながら、昨今の社会経済情勢は、世界的な金融危機をはじめとして極めて憂慮すべき状況にあります。

本市では道路網をはじめ教育施設、上下水道など基礎的な基盤の整備や子育て支援の拡充、本市の特色を活かした産業振興など、取り組むべき課題がまだまだ残されており、財政の健全化と積極的な施策の展開の両立を図りながらこの難局に対処して参りたいと考えております。

市政に対する皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ



二本松市議会議長
市川 清純

市民の皆様、明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中、皆様から寄せられました温かいご指導やご厚情に対し、改めて心から御礼申し上げます。

さて、今日、地方自治体を取り巻く環境は、景気の後退、雇用不安等に加え、三位一体の改革以降の影響や、地方分権改革が推進される中、非常に厳しいものがあり、市町村の自主性・自立性が求められております。

このような状況下にあつて、本市におきましても、創意工夫をしながら各種施策を講じていくうえで、多くの課題が山積しております。

また、依然として合併協議における課題が残されていること、更には、市民福祉の向上や、それぞれの地域の調和のとれた発展、活性化を図ることなど、私ども議会が果たすべき役割と責任は、ますます重く、大きなものになると思っております。

市民の皆様の期待に応えるためにも、議員一丸となつて、議会の権能を活かし自らの行財政改革や、行政諸課題の解決に取り組んでいかなければならないものと、決意を新たにしております。

市民の皆様には、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げますとともに、皆様のご多幸、ご健勝をご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。